



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成29年度 第2号 平成29年5月26日発行

脳を鍛える

校長 古山真樹

連休明けから、君たちの授業の様子を参観していますが、どのクラスもどの生徒も一生懸命に授業に取り組む姿を見ることができてうれしく思っています。時折、授業が始まってから教科書を取りに行く人、なかなか教科書を開かない人も見かけますが、大丈夫ですか。

なんと言っても君たち中学生の生活の中心は授業であり、学ぶことでなくてはなりません。今のうちに頭、脳をたくさん働かせて、鍛えることが何よりも大切です。鍛えることで脳はどんどん発達していきます。小学校一年生の時と比べれば、どれだけ知識量が増加し、複雑な思考ができるように脳が鍛えられてきたかはわかりますよね。脳は鍛えれば鍛えるほど発達します。

また逆に、君たちの中には、「数学は苦手だ」「地名や年代を覚えるのが苦手だ」という人も出てきているはずです。これは、脳の働かせる部分が違うことから、得手不得手が生じたものです。得意な分野は大いに伸ばしてほしいのですが、中学生のこの時期は苦手な分野にも挑戦して、様々な思考回路を鍛えておくことが将来のためにも大切です。

君たちの若い脳は学ぶことでどんどん鍛えられます。確かに、高校生の途中から理系・文系に分かれ、大人になれば専門分野をどんどん伸ばすことが求められます。最近はジェネラリスト（幅広い知識をもった人）よりもスペシャリスト（一芸に秀でた者、専門家）が求められる傾向が強いようですが、中学生のこの時期にはぜひ幅広く挑戦して、ある分野は全くだめだという偏りなく、脳を成長させてほしいと願います。脳のあらゆる部分を鍛えること、刺激を与えることで、将来様々な人生の選択肢が広がると同時に、困難に出会ったときに様々な知恵を生み出す原動力になります。今、若いうちに様々な思考回路を増やしておきましょう。つまり、どの教科の学習も手を抜くことなく、しっかりと自分を鍛えるため、将来の自分づくりのためにがんばっていきましょう。

今月の言葉

心意気

「心意気」とは「物事に積極的に取り組もうとする気構え、意気込み」「自ら進んで困難に立ち向かっていこうとする強い意志」と言えるでしょう。特に「気構え」「意気込み」といった気持ちの部分を中心に置かれる言葉です。

自分自身の心に誓って、一度決めたことは絶対にあきらめないという強い信念をもつことであったり、他人の勇氣ある行動、他人の心意気に自分の心が共鳴して自分の強い決意、気構えとなったりすることを言います。人の気持ちに触れて、「よし、その気持ちに答えるぞ」「あの人のためならがんばるぞ」という利害や打算抜きで、純粋に頑張ろうとする気持ち、これが心意気です。

時には「人生、意気に感ず」という言い方もします。人の心意気に強く心を動かされて、献身的に自分も努力する。そのことが人間らしさではないでしょうか。人の言動に心動かされてがんばるということは、自分のことしか考えられない人、周囲が見えない人にはできません。この心意気こそが人のエネルギーや原動力とも言えるのではないのでしょうか。心意気を感じない人生はつまらない人生とも言えるのではないのでしょうか。ぜひこれからそういう機会や出会いをもってほしいと願います。そのことが人生に充実感や潤いを与えることになるでしょう。

運動会 間近に迫る！

いよいよ、来週の土曜日が運動会です。今週から本格的に練習が始まり、運動会本番に向け、生徒の気持ちも高まってきました。どのクラスも優勝を目指して奮闘しています。特にクラスの団結を必要とする「学年種目」は、さらに力が入ります。きっと、うまくいかずに悩むこともあるでしょう。しかし、それらの活動を通して、クラスの絆がまた深まっていくと思います。

さて、ここで各学年の「学年種目」を紹介させていただきます。(写真は今年の練習風景です)



1年 いかだ流し

クラスメイトが順番に背中を合わせて並び、その上を「船頭」が走り抜ける競技です。背中の上はバランスを崩しやすく、船頭役の生徒は大変苦勞します。また、背中を合わせて列をつくる生徒にも素早さと団結力が必要です。さて、今年の1位は！？



2年 大縄跳び

制限時間内にクラス全員で連続何回跳べるかを競います。跳ぶタイミングを合わせることはもちろん大切ですが、縄を回す生徒も重要で、非常に力とテクニックを使います。今年の最高は何回になるか！？

3年 大ムカデ

最高学年の3年生は「大ムカデ」です。最後の運動会にかける3年生の思いがこのムカデ競争に出ます。大迫力とともに男女のリレーも見応えがあります。さあ、今年はどんなレース、どんなドラマが待ち受けているのでしょうか！！



今年度から、「男子組体操」・「女子よさこいソーラン」は、実施しません。

学校・地域連携事業 始まります

学校・地域連携事業とは、学校が必要とする教育支援活動を地域の多様な人材の協力を得て展開するものです。

そのために各学校に「学校支援コーディネーター」を配置し、今後、学校と共に教育活動のプログラムを企画していきます。

開進第一中学校学校支援コーディネーター
開一小青少年委員・元本校PTA副会長

嶋田 澄子

本校同窓会幹事長

渡邊 弘幸